

Exhibition

若手女性作家グループ展シリーズ Ascending Art Annual Vol.3

うたう命、うねる心

会期 2019年7月4日(木) — 7月23日(火)

会場 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)



生命と心情がテーマ、気鋭のアーティスト3名によるグループ展開催

スパイラルは、若手女性アーティストを中心に紹介する展覧会シリーズ「Ascending Art Annual」を2019年7月4日(木) — 23日(火)までスパイラルガーデン(スパイラル1F)にて開催いたします。第3回目のテーマは「うたう命、うねる心」。私たちは、平穏な暮らしがどこか当たり前かのように日々を営んでいます。けれども、予測のつかない事故や災害、病など、突如深い悲しみが訪れることも、環境や人間関係に静かな絶望を抱える人もいます。また、新たな命の誕生は奇跡的な幸福である一方、幾多もの不安や社会的抑圧を乗り越え、育み続けていかなければなりません。ありとあらゆる地球上の生命は、無為無数に蠢くようであり、実にかよわく、はかない存在です。環境や社会や家族を通じて互いを編み、それぞれの居場所に安心を結ぶことで、ようやく命をつないでいくことができるのです。

本展では、3名の気鋭アーティストの作品を紹介します。母なる海にたゆたう鯨のリサーチを通じ、地球規模での命の行方へと思いを巡らせるインスタレーションを空間いっぱいに表現する大小島真木、人間の心に蠢く感情を架空の虫に擬え、標本のように精密な立体作品を生み出す川越ゆりえ、人形劇のような舞台装置に自身の顔や身体の実写映像を合成させた、独特の映像世界を操る笹岡由梨子。

心のうねりを携えながらも、生命のダイナミズムを高らかに歌い、未来を歩む力強さを是非ご覧ください。この機会にぜひご取材・ご掲載の検討の程、よろしくごお願い申し上げます。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
 スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美
 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
 E-mail press@spiral.co.jp SPIRAL WEB <http://www.spiral.co.jp/>

プロフィール

**大小島真木 Maki Ohkojima**

1987年東京生まれ。2011年女子美術大学大学院修士課程修了。描くことを通じて、鳥や森、菌、鉱物、猿など他者の視野を自身に内在化し、物語ることを追求している。2014年にVOCA奨励賞を受賞する。2017年にはアニエスベーが支援するTara Océan財団が率いる科学探査船タラ号太平洋プロジェクトに参加。主な個展に、「鯨の目」（2019年、フランス・パリ水族館）、「樹がその生命を分かち時」（2018年、ボルボスタジオ青山）、「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして」（2015年、第一生命ギャラリー）。主なグループ展に、「瀬戸内国際芸術祭-粟島」（2019年）、「アグロス・アートプロジェクト"明日の収穫"」（2019年、青森県立美術館）、「絵と言葉のまじわりが物語のはじまり」（2017年、太田市美術館・図書館）など。パブリックコレクションに、ピゴッツィ・コレクション、第一生命保険株式会社などがある。

<http://www.ohkojima.com>

**川越ゆりえ Yurie Kawagoe**

1987年富山県生まれ。2013年富山大学大学院芸術文化科学研究科修了。主に、人の心に潜む様々な感情や弱さを、架空の虫の形に起こして制作している。2011年に「シェル美術賞2011」に入選、第2回卒業制作展「GEIBUN 2」にて五十嵐太郎賞を、「第85回国展」にて奨励賞を受賞する。2013年に第4回卒業制作展「GEIBUN4」にて都築響一賞を受賞、2014年に「第88回国展」にて新人賞を受賞する。2018年、はっけんとぼうけんプロジェクト「テーマ：ころも・むし」YURIE KAWAGOE WORK SHOP IN IBI YOUCHIEN 2018（学校法人揖斐幼稚園）にて講師を務める。主な個展に、「アペルト07 川越ゆりえ 弱虫標本」（2017年、金沢21世紀美術館）、「弱虫博物詩」（2017年、ARTBOX152西田美術館）、「レスポワール展 2012」（銀座スルガ台画廊）など。パブリックコレクションに、朝日印刷株式会社、学校法人揖斐幼稚園などがある。

https://creatorsbank.com/yurii_yurii

**笹岡由梨子 Yuriko Sasaoka**

1988年大阪生まれ。2012年京都市立芸術大学美術学部油画専攻卒業。同大学美術研究科修士課程油画専攻修了。博士（後期）課程メディア・アート専攻満期退学。操り人形を撮影した映像に、人の顔や身体のパーツを合成し、ローテクとハイテクを混合させることで現実と非現実が入り混じる独特な世界観を持つ作品を制作している。「アートアワードトーキョー丸の内2014」にて建島哲賞を受賞、2015年「第18回文化庁メディア芸術祭」にてアート部門審査委員会推薦作品に選出される。2016年「第19回岡本太郎現代芸術賞」にて特別賞、2017年「群馬青年ビエンナーレ」に大賞を受賞する。主な個展に、「command X」（2017年、8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery）。主なグループ展に、「瀬戸内国際芸術祭 2016」（香川・小豆島）、「Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展—」（京都文化博物館）。パブリックコレクションに、ピゴッツィ・コレクション、群馬県立近代美術館などがある。

<https://sasaokayurikoworks.wixsite.com/sasaokayuriko>

出展作品

大小島真木

フランス・パリ水族館の個展「鯨の目」にて、大規模なインスタレーションとして展開した、鯨をモチーフとした4作品に、最新作1点を加え、展示します。亡くなった鯨の身体が深海に沈み、生物に食べられることによって形成される生態系「鯨骨生物群」に着目し、アクリルやクレヨン、スプレーカラーなどの画材や、瀬戸内海・粟島の海辺で拾得したプラスチックや漁師の網などの人工物を用いて、命の循環や万物流転の様相をダイナミックに描き出します。直径約15mのアトリウム空間にたゆたう鯨が紡ぐ、地球規模の命のストーリーをお楽しみください。



大小島真木《鯨の目》(2018)
©Maki Ohkojima Photo by Serge Koutchinsky

川越ゆりえ

金沢21世紀美術館主催、個展形式の展覧会シリーズ「アペルト」の第7回展に出展された代表作《弱虫標本》(2013)や、背中に嫉妬心を表す赤いつぶつぶを持つ虫たちが並ぶ《嫉妬心の標本》(2015)を含む、近年の作品18点を展示します。

川越は、人間の嫉妬心や寂しさ、弱さといった、一見するとネガティブな感情を、幻想性に富んだ虫の姿に置き換え、標本として並べ相対化します。川越の仔細な観察から生まれる、さまざまな感情たちや弱虫たちの世界をご堪能ください。



川越ゆりえ《嫉妬心の標本》(2015)
F50号
ミクストメディア

笹岡由梨子

「Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展—」にて、最優秀賞を受賞したビデオ・インスタレーション《Gyro》を展示します。私たち日本人は、「悪魔のしわざ」と言っているほどの甚大な被害をもたらす幾多の自然災害に見舞われながらも、自然を深く愛し、許してきたと語る笹岡。本作は、「許す」ことをキーワードに、さまざまな宗教の悪魔をモチーフとした極彩色の世界が描かれています。



笹岡由梨子《Gyro》(2018)
ビデオ・インスタレーション

開催概要

若手女性作家グループ展シリーズ Ascending Art Annual Vol.3 「うたう命、うねる心」

会期 2019年7月4日(木) — 7月23日(火) 11:00—20:00 会期中無休

会場 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)

東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

入場無料

URL <https://www.spiral.co.jp/topics/spiral-garden/aaa3>

お問い合わせ 03-3498-1171 (スパイラル代表)

主催 株式会社ワコールアートセンター
企画制作 スパイラル
企画協力 ワコールスタディホール京都
協力 アニエスページャパン株式会社、香川県三豊市、Tara Océan 財団

本展は東京展をスパイラルガーデン（スパイラル 1F）にて開催し、その後、2019年11月13日（水） - 2020年1月18日（土）まで京都（ワコールスタディホール京都 ギャラリー）に巡回します。

関連イベント

角銅真実スペシャルライブパフォーマンス

天性の音楽センスとパフォーマンスの美しさで人気を博し、ceroをはじめとした数多くのバンドのサポートメンバーとして活躍し、また映像、ダンス作品への音楽を提供するなど、さまざまなシーンで引く手あまたの音楽家、角銅真実のライブを開催いたします。

今回は展示のコンセプトをふまえ、ピアノと歌、ギターの編成で演奏します。今、最も聴きたいアーティストとして語られる彼女のライブを、是非ご鑑賞ください。



日時：2019年7月5日（金）20:00-21:00（開場：19:45）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

ゲスト：松丸契（サクソ奏者）

料金：1000円（1ドリンク込み）

申込み等、イベント詳細は <https://www.spiral.co.jp/topics/spiral-garden/aaa3> をご覧ください。

プロフィール

角銅真実 Manami Kakudo

長崎県生、音楽家 打楽器奏者。打楽器、自身の声を用いて、バンド cero をはじめとする様々なライブサポート・作品制作に携わる他、CM、映画、ダンス作品の音楽制作など、作家としての自由な表現活動を国内外で展開している。2017年7月に1st ソロアルバム《時間の上に夢が飛んでいる》、2018年8月に2nd アルバム《Ya Chaika》をリリース。

2016年-ドラマー石若駿の Song book Project では作詞と歌唱で参加するほか、最近では、ORIGINAL LOVE の新しいアルバムにパーカッションとビブラフォンで参加したほか、原田知世《L'Heure Bleue》に作詞家として二曲歌詞を提供した。